

事業概要

【目的(取組の背景)】

九州では、全国よりも高く推移しているものの、合計特殊出生率や人口に対する子どもの割合が低下傾向。

夫婦が理想とする子どもの数は2.25人であるが、実現できていない。「こども施策の推進に関する意識調査」により、

- ・希望どおり産休や育休が取得できる
- ・配偶者の協力や理解が得られる

ことが、安心して出産・育児ができることにつながると判明。男女が共に仕事その他の活動と家事・育児の両立ができるよう、両立に関する意識啓発の推進、育児休業を取得しやすく復帰しやすい、働き続けやすい職場環境の整備が必要。

【目指す成果】

安心して子育てができる、社会全体で子育てを行う九州になること。

男性が2週間の育児休業を取得することが、ごく自然な九州になること。

女性がキャリアをあきらめることなく、結婚、妊娠・出産、子育ての希望が叶う九州になること。

【主な取組】

- ①男性育休の取得促進
- ②アンコンシャスバイアスの解消
- ③フェムテックの活用による女性の健康課題への理解促進
- ④ウェルビーイング経営の浸透

概算経費

4,500千円/年

各団体負担の考え方等

500千円×9県
(第2期の次世代育成PTから継続)

実施期間

令和7年6月～令和12年3月

事業スキーム

【推進体制】

佐賀県をリーダー、九州経営者協会をサブリーダーとして、九州地域戦略会議の構成メンバーの意見を聴きながら、事業を推進。

【事業の進め方】

ニーズや状況把握のための調査を経済団体経由で実施。それらを踏まえ、行政と経済団体が協議し、取り組む事業を決定。事業は、経済団体の協力を得ながら、リーダー県または各県にて実施。

KPI(重要業績評価指標)

・育休取得宣言企業・事業所数

(当初(R7. 3): 0)
 (現状(R8. 3): 1,118 R8.5.15時点:3,080)
 (目標(R12. 3):11,000)

目標達成に向けたロードマップ

子育てランド九州 PJ		R 7	R 8	R 9	R10	R11
K P I		年次目標				最終目標
育休取得宣言企業・事業所数		2,200	4,400	6,600	8,800	11,000
主な取組	男性育休の取得促進 ・認証制度の創設 ・ステッカー交付 ・ハッピーカードの普及 （経営者から従業員へ）	認証制度の創設 ステッカー制作 ハッピーカード制作	認証・登録の拡大 各県HPTトップのリンクから認証事業者一覧を閲覧可能へ			
	アンコンシャス・バイアスの解消 ・啓発広告（職場の「もんだ症候群」を募集） ・もんだチェックリスト作成	「もんだ症候群」の事例、 社内の改善成功例募集 もんだチェックリスト制作	啓発			
	フェムテックの活用による女性の健康課題への理解促進 ・生理痛体験ワークショップ、 生理痛オンライン研修の実施	知事等の参加による生理痛ワークショップ実施	生理痛オンライン研修 生理痛体験ワークショップ（希望県のみ）※商工団体等に波及			
	ウェルビーイング経営の浸透 ・取組企業の事例紹介 ・専門家の講演		好事例の収集 好事例を各県SNS等で紹介 専門家の講演			